

<b>シクロスルファミロン・ペントキサゾン粒剤</b> <b>ユートピア1キロ粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> O A T  <b>原体メーカー：</b> B A S F， 科研製薬
<b>成分：</b> シクロスルファミロン〔スルホニルウレア系〕……0.60% ペントキサゾン〔オキサゾリジンジオン系〕……4.5%	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】 ……………

- 水稲への安全性が高く田植と同時散布も可能な除草剤である。
- 50～60日の残効を発揮し、1回の処理でイネ科雑草を含む一年生雑草やウリカワなどの多年生雑草を抑える。
- 散布後、有効成分が土に強くくっつき表層部に安定した処理層を形成し、効果の変動が少ない除草剤である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 ……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、田植時からノビエの1.5葉期までに時期を失しないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
クログワイ オモダカ アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

- クログワイ、オモダカの防除に当たっては、必要に応じて有効な後期剤と組み合わせて使用する。
- 未熟有機物を施用した場合は特に整地、代かきを丁寧に行う。

### 【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 田植同時期に散布する場合は、通常の移植作業と同様に落水下で田植と薬剤処理を行う。処理後入水し、通常の湛水状態を保ち田面を露出させたり、水を切らしたりしないように注意する。
- 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので、水管理に注意する。
- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（移植水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（れんこん、くわい、いぐさ、せり）への薬害などの注意事項は「薬害注意事項解説」を参照。
- いぐさ栽培予定田では使用しない。

### 【安全対策上の注意】 ……………

- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

【適用と使用方法】 .....

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数	
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ（北 海道を除く） ヘラオモダカ（北 海道） オモダカ クログワイ （北海道，北陸を 除く） ヒルムシロ（北陸 を除く） アオミドロ・藻類 による表層はく離	砂壤土～埴土	移植時	1 kg	田植同時 散布機で 施用	北海道	1 回 ※	
		埴土～埴土				東北，北陸		
		砂壤土～埴土				関東・東山・ 東海の普通期 及び早期栽培 地帯		
		埴土～埴土				近畿・中国・ 四国，九州の 普通期及び早 期栽培地帯		
		砂壤土～埴土	移植直後～ ノビエ 1.5 葉期 但し，移植 後30日まで		湛水散布	北海道		
		埴土～埴土				東北，北陸		
		砂壤土～埴土				関東・東山・ 東海の普通期 及び早期栽培 地帯		
		埴土～埴土				近畿・中国・ 四国，九州の 普通期及び早 期栽培地帯		
		砂壤土				移植後3日 ～ノビエ 1.5 葉期 但し，移植 後30日まで		

※シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回数：2 回以内  
 ※ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数：2 回以内